

(1) 指 標

国の地球温暖化対策計画で定められた中期目標をもとに、安城市での温室効果ガス^{*}排出量を令和 12 年度（2030 年度）に、平成 25 年度（2013 年度）比で 46%減らすことを指標とします。

指 標	基準年度 平成 25 年度 (2013 年度)	最新値 平成 29 年度 (2017 年度)	目 標 令和 12 年度 (2030 年度)
①温室効果ガス排出量	2,590 千 t-CO ₂	2,626 千 t-CO ₂	1,398 千 t-CO ₂ (2013 年度比 46%減)
化石燃料由来のエネルギーの使用量を抑制し、温室効果ガス排出量を減らします。			

※令和 4 年 5 月に、目標値を 1,916 千 t-CO₂ から 1,398 千 t-CO₂ に変更しました。



写真：太陽光発電パネルが設置された住宅



写真：燃料電池自動車（左）・プラグインハイブリッド自動車（右）

(2) 目的・状態・指標のまとめ

生活環境保全

- 目的 人が安心して生活するため
- 状態 大気・水などが良好な状態にあること
- 指標

指標	最新値 令和元年度 (2019年度)	目標 令和12年度 (2030年度)
①大気的环境基準 [※] 達成率	100%	100%
②水質的环境基準達成率	64%	100%
③道路騒音の要請限度 [※] 達成率	100%	100%
④ダイオキシン類の環境基準達成率	100%	100%

自然・都市共生

- 目的 良好な自然環境を守るため
- 状態 農地・水辺地などの自然環境が保たれる適正な土地利用を行っていること
- 指標

指標	最新値 令和2年(2020年)4月	目標 令和12年度 (2030年度)
①都市公園の面積	100.21ha	↑
②多面的機能活動対象区域面積率	90.3%	↑
③多自然川づくり整備延長距離	6,600m	↑

資源循環

- 目的 限りある資源を大切にするため
- 状態 廃棄物の減量、再利用、処理を適正に行っていること
- 指標

指標	最新値 令和元年度 (2019年度)	目標 令和12年度 (2030年度)
①1人1日当たりのごみ排出量	924g/人・日	↓
②最終埋立処分量	5,875t	↓

地球温暖化対策

- 目的 地球温暖化を緩和させるため
- 状態 二酸化炭素などの温室効果ガス[※]の排出量が少ない社会構造であること
- 指標

指標	基準年度 平成25年度 (2013年度)	最新値 平成29年度 (2017年度)	目標 令和12年度 (2030年度)
①温室効果ガス排出量	2,590 千 t-CO ₂	2,626 千 t-CO ₂	1,398 千 t-CO ₂

環境学習・環境行動

- 目的 4つの計画の柱を推進する環境意識を高めるため
- 状態 市民・事業者・行政が皆主体的に単独または協働で行動していること